

ふくい街角景気速報

(令和6年6月分)

調査期間 令和6年6月18日～25日 (回答率: 90%)

概況

景気の現状判断DIは45.3となり、前月と比べ2.8ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは50.6となり、前月と同水準であった。

■景気の現状判断DI 45.3 (前月比 ▲2.8)

- 家計動向関連では、前月に比べ 3.5 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 3.7 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.8 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

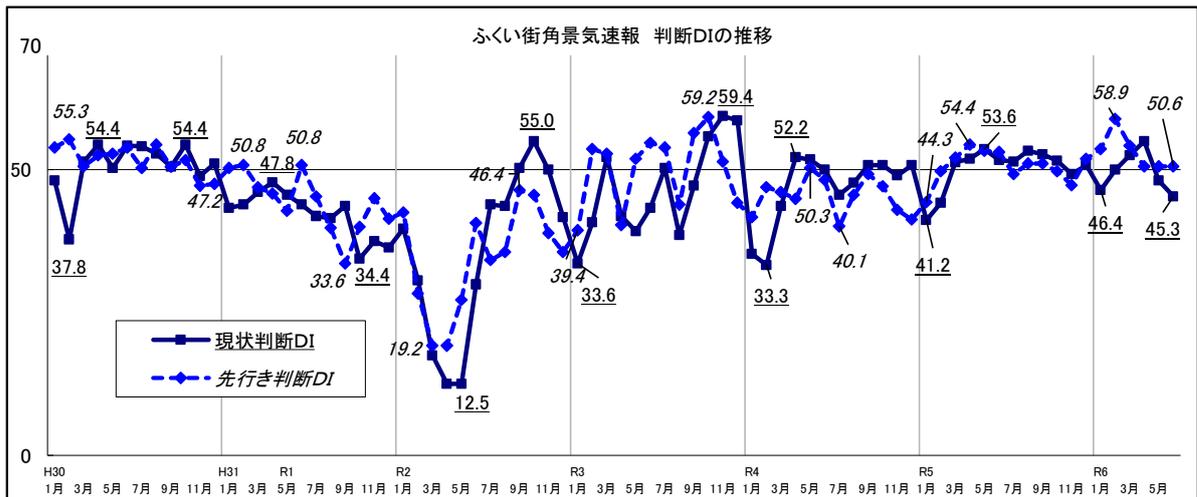
- 新幹線延伸から客数が昨年を割らずに来ており、延伸に伴う若干の底上げ効果があると思われる。(百貨店、SC等)
- 北陸新幹線延伸効果を実感する一方、引き続き原材料価格高騰・物価高が重となっている。(銀行等金融関連)

■景気の先行き判断DI 50.6 (前月比 ±0.0)

- 家計動向関連では、前月に比べ 1.6 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 3.8 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 5.1 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

- 物価高、燃料高、電気代高等の状況に変化が見られない。(百貨店、SC等)
- 中国経済低迷、世界で発生している紛争の状況により先行きの不透明感はあるものの、季節要因を除いても需要は緩やかに回復してきている。(電気機械関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R6 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		46.4	50.0	52.5	55.0	48.1	45.3	▲2.8
家計動向関連		42.6	50.0	52.3	58.7	45.3	41.8	▲3.5
小売		45.5	50.9	46.4	51.9	42.7	42.7	+0.0
飲食		25.0	45.0	62.5	66.7	50.0	35.0	▲15.0
サービス		41.7	50.0	62.5	72.5	50.0	42.5	▲7.5
企業動向関連		47.9	45.7	50.0	49.3	49.2	45.5	▲3.7
製造業		46.2	45.0	52.1	51.0	48.8	45.8	▲3.0
非製造業		52.8	47.5	45.0	45.0	50.0	44.4	▲5.6
雇用関連		56.3	62.5	60.4	58.3	56.3	59.1	+2.8

○回答別構成比

	年 月	R6 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなっている		1.1%	1.1%	5.6%	11.1%	3.3%	2.2%	▲1.1
やや良くなっている		19.8%	23.3%	26.7%	26.7%	20.0%	17.8%	▲2.2
変わらない		50.5%	53.3%	42.2%	36.7%	46.7%	44.4%	▲2.3
やや悪くなっている		20.9%	18.9%	23.3%	22.2%	25.6%	30.0%	+4.4
悪くなっている		7.7%	3.3%	2.2%	3.3%	4.4%	5.6%	+1.2

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R6 1	2	3	4	5	6	(前月差)
合計		53.6	58.9	54.2	50.6	50.6	50.6	+0.0
家計動向関連		57.4	62.2	55.7	51.2	49.5	51.1	+1.6
小売		57.1	58.0	50.0	41.7	46.8	49.2	+2.4
飲食		62.5	55.0	58.3	75.0	45.0	65.0	+20.0
サービス		56.3	77.5	70.0	62.5	58.3	50.0	▲8.3
企業動向関連		48.6	52.1	51.5	48.6	50.0	46.2	▲3.8
製造業		45.2	51.0	52.1	50.0	48.8	42.7	▲6.1
非製造業		58.3	55.0	50.0	45.0	52.8	55.6	+2.8
雇用関連		54.2	66.7	56.3	54.2	56.3	61.4	+5.1

○回答別構成比

	年 月	R6 1	2	3	4	5	6	(前月差)
良くなる		6.6%	10.0%	6.7%	7.8%	2.2%	3.3%	+1.1
やや良くなる		26.4%	34.4%	30.0%	18.9%	21.1%	24.4%	+3.3
変わらない		45.1%	41.1%	42.2%	48.9%	56.7%	47.8%	▲8.9
やや悪くなる		18.7%	10.0%	15.6%	16.7%	16.7%	20.0%	+3.3
悪くなる		3.3%	4.4%	5.6%	7.8%	3.3%	4.4%	+1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	企業 動向	坂井	一般機械関連	製造業界全体が受注増の傾向にあるため。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	百貨店、SC等	新幹線福井駅開業時は客数が減少し、県内の方も駅周辺に集中していたと思われるが、5月後半から次第に客数が戻ってきて売上も伸びてきている。
		奥越	百貨店、SC等	新幹線延伸から客数が昨年を割らずに来ており、延伸に伴う若干の底上げ効果があると思われる。
		福井	飲食関連	常連さんが戻って来たことに加え、新規の方も少しずつ増えてきた。
	企業 動向	丹南	電気機械関連	3か月前に比べると、売上がやや増加しているため。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	求人も多く、企業の中には充足していないところも多い。
③変わらない	家計 動向	福井	商店街	新幹線、再開発のインパクトも落ち着き平常に戻りつつあるため、変わらないとの判断とした。
		嶺南	商店街	3月の北陸新幹線開業から良い水準を保っている。
		福井	百貨店、SC等	期待していたが、物価上昇に伴い堅実な買い方となっている。
		奥越	観光物産関係	最近のお客さんはあまりたくさん買わない。お客さんの数は増えているが、客単価が増えない。
	企業 動向	坂井	繊維関連	部分的に改善はみられるものの、市況から受注は伸び悩んでいる。
		丹南	電気機械関連	賞与支給やベースアップ等による収入の増加はあるが、物価の上昇等により相殺され、特に景気が良くなっているとは見受けられない。会社業績においても、大きな変化は見られない。
		嶺南	商社	物価高騰に個人消費が追いついていない。
		福井	その他製造関連	物価高が続いており、購買意欲などが高まっているとは思えない。新聞折込チラシも予算少なめな企業が多く、発注量は少ない。
		福井	銀行等金融関連	北陸新幹線延伸効果を実感する一方、引き続き原材料価格高騰・物価高が重しとなっている。
	雇用	嶺南	労働相談員	労働相談件数から比べてみても、3か月前と横ばいに推移していることから、景気は変わらないと判断する。
		福井	就職情報誌	弊社の媒体について、広告掲載が大きく増えたということは感じられない。
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	一般小売店	物価の上昇で、消費者行動を伴う来店数は少ない状況。
		福井	百貨店、SC等	様々な商業施設の増加、イベント開催等、街が盛り上がる一方で限られたパイを分け合う状況が否めない。観光客が想定ほど増えていない印象。
		嶺南	百貨店、SC等	物価上昇率高く、実質賃金は上がっていない。新幹線開通後の活性化策に課題を感じる。
		坂井	スーパー	物価高騰(値上げ)が続いていることもあってか、来店客数・1人あたりの買上点数の減少が続いている。
		福井	コンビニエンスストア	来店客数・客単価ともに前年を下回る基調である。財布の紐が硬い空気感を感じる。
		坂井	観光物産関係	3月は新幹線効果の影響があり、商品の動きが良かったが、今月は商品の動きが良くはないため。
		福井	観光関係	タクシーの値上げと物価高の影響で、タクシーを利用する方が減っている。
	企業 動向	奥越	繊維関連	外的要因で生産量が落ちてしまった。
福井	化学・プラスチック関連	住宅着工が減少している。		
⑤悪くなっている	家計 動向	福井	飲食関連	観光客が少なく新幹線効果もかなり薄く感じる、福井駅前の飲食店はオーバーストア気味になっており、勝ち負けが大きく出てきている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	福井	飲食関連	7月中旬になれば、今の状況よりは人流が増えるため。
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	夏に向け、観光客などが増えてくると思う。
		福井	百貨店、SC等	酷暑などで、昨年とは違った消費が生まれる可能性があるため。また、夏休暇での旅の需要は更に拡大すると予測されるため。
		福井	飲食関連	駅前ブームが落ち着いてきたのか、片町の人出も増えてきた。若い方が片町を歩くようになった。
	企業動向	丹南	電気機械関連	中国経済低迷、世界で発生している紛争の状況により先行きの不透明感はあるものの、季節要因を除いても需要は緩やかに回復してきている。
		福井	銀行等金融関連	電気代の値上がりや物価上昇が家計に与える影響は大きいと感じる。一方で新幹線効果が高止まりし、対面型サービスを中心に持ち直しが続くと期待される。
	雇用	坂井	自治体労働政策担当課	夏休み等の行楽シーズンに向かい、北陸新幹線による観光客の流入により県内の消費喚起に繋がる。
福井		学校就職担当者	会社の方の求人活動が活発であるため。	
③変わらない	家計動向	福井	商店街	少しずつの物価上昇によって買い控えが出てくると思うが、駅前の変化による上昇も鑑み、変わらない。
		福井	一般小売店	定額減税でも物価上昇の広がり、個人消費増は期待できない。
		福井	百貨店、SC等	動員が厳しくなっている。若くなればなるほど、消費をしなく・できなくなっている感覚が強い。インバウンドの成果がもう少し出てくると変わっていくと思う。
		丹南	百貨店、SC等	物価高、燃料高、電気代高等の状況に変化が見られない。
		福井	スーパー	物価上昇に対し賃上げが追い付いていないと思われるが、影響が出るのはもう少し後と思われる。
		坂井	スーパー	定額減税で一時的に給与の手取りが増えるが、それが消費意欲に結びつかは不明。電気料の値上げ(補助金終了等)もあり、消費は慎重になりそうである。
		奥越	飲食関連	梅雨明けに期待しているが、町中に人を呼べるこれと言うものが無いので大きく変わることは無いかと思う。
		坂井	観光関係	新幹線開業効果が感じられない。予約状況が昨年と変わらないもしくは減少している。
	企業動向	福井	繊維関連	業界全体の動きが鈍い。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けで、欧州等多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少がしばらく続く見通し。
		嶺南	商社	個人消費の増加がまだ見えない。
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	3月には北陸新幹線が県内開業をしたが、雇用情勢においては特に大きな変化は見られない。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	経費は上昇するが、人件費は下げられないという経営側のジレンマを感じる状況はしばらく続きそう。また「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」なども問題となっている。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	一般小売店	物価上昇に敏感になり、収入増よりも影響を受けている。
		福井	百貨店、SC等	電気料金の補助がなくなり家庭でのコスト負担が重くなることと、物価高が継続しているため。定額減税はあまり消費に繋がる事は無いと考える。
	企業動向	丹南	電気機械関連	電気料補助金の終了など必要経費の上昇が見込まれ、景気への悪影響が予測されるため。
		福井	化学・プラスチック関連	建築業界において資材、人件費の高騰、住宅の買い控えなど、プラス要素が見当たらない。
福井	その他製造関連	紙の値上げも予定されていて、ますます物価高となっていくことが予測される。定額減税が始まって何事も変わらないように思う。		
⑤悪くなっている	家計動向	福井	サービス業関連	6月から電気代の大幅値上げが予定されている。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。 今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。 次の5つの中から、お選びください。
①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない ④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。 次の5つの中から、お選びください。
①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)